

別紙2. 『システム機能要件書』

I.機能一覧

業務分類	処理機能	項目	要求機能
1. 全般			
全般	画面	1	画面のサイズは任意に変更でき、画面サイズに準拠して、画面内の入力項目のサイズも自動的に変更できること
		2	データ登録を行う画面において、必須入力となる項目に任意の背景色、文字色を設定できること
		3	全画面において、入力カーソルがある項目に任意の背景色、文字色を設定できること
		4	使用する画面のフォントは任意に設定できること
		5	全画面にログインIDと処理端末IDが表示できること
	入力	6	処理選択・コード値選択がマウスおよびファンクションキーで操作できること
		7	TABキー、Enterキー、上下キーにより各入力項目間のカーソルを移動できること
		8	ボタンが大きく、ディスプレイをタッチパネル式であれば指でタッチすることによって無理なく操作できること
		9	バーコードリーダによる読み込み時、必ず端末からも確認音が出ること（端末で読み込めていない際はエラー音を出せること）
		10	貸出画面や返却画面の資料明細で、マウスの右クリックによりローカル情報、タイトル情報の修正画面が起動するなど、カウンターでの資料修正の省力化が図れること
		11	データ登録画面において、データ入力中に登録処理を行わないまま、誤って「終了」ボタンをクリックしたとき、確認メッセージが表示できること
	画面展開	12	貸出・返却等、各関連業務内の処理画面の個々の展開は、メニュー画面に戻らなくても可能なこと
		13	ワンタッチで起動する別画面は、任意に設定できること（4つ以上）
		14	画面展開の際、不要な確認については求めることなく表示すること
		15	画面の遷移状況を表示し、その遷移過程にある画面には、1クリックで戻ることができること 例）①貸出処理→②利用者検索画面→③利用者登録画面→④利用者貸出一覧画面の順で遷移したとき、①②③どの画面にも戻ることができること
	業務メニュー	16	業務メニューの構成は、館および端末ごとに変更できること
		17	職員IDを設定することにより、職員ID毎に業務メニューを設定できること
		18	基本業務の起動はファンクションキーを押すことで可能なこと
		19	業務メニューはボタンの配置場所、配置の順番、空きスペースなども各業務毎に設定可能なこと
	統計処理	20	メニュー画面に長期予約割当/長期予約待ち/予約受取希望日/予約割当可能資料/保管期限切れ雑誌が何件あるのかを表示できること また対象資料を一覧で表示できること
		21	貸出や返却の統計データについては、リアルタイムにサーバのデータベースを更新し、日時処理等特別な処理を必要としないこと
		22	各種統計結果は、CSV形式での出力が可能なこと
		23	集計結果を画面で確認でき、必要に応じて印刷できること
		24	図書館要覧に記載している統計情報（分類別蔵書冊数（類目別、一般書／児童書別）、利用状況（一般／児童別の登録者数、延べ利用者数、地区別登録者数）、年度の資料貸出点数（一般書／児童書別、月別））を出力できること
	レシートプリンタ	25	利用（貸出・返却・予約）統計表は、日報（時間帯別）・月報（日別）・年報（月別）に出力できること
		26	貸出期限票、予約者連絡票、回送指示票等のレシートを任意の専用プリンタにより出力できること
	帳票	27	レシートの出力項目等を端末ごとに設定できること
		28	帳票システムとして、各施設の仕様に合わせた背ラベル、バーコード等の印字が可能なこと
		29	各施設の仕様に合わせた資料番号バーコードをラベル形式で印刷できること
		30	各施設の仕様に合わせた利用者バーコードをラベル形式で印刷できること
		31	ラベルプリンタと連携し、利用者名、利用者番号、利用者番号バーコードをシールラベルに印刷できること
	利用者カード	32	必要な帳票内容は、CSV出力に対応できること
		33	バーコードを印刷した利用者カードが利用可能なこと
	セキュリティ	34	インターネットに公開するWebサーバには利用者情報等の個人情報を持たせないよう業務サーバとデータベースをわけること

別紙2. 『システム機能要件書』

I.機能一覧

業務分類	処理機能	項目	要求機能	
	分館対応	35	各館での資料移送を簡易に管理できるように①所蔵館（本籍館）②所在館（現在資料が処理された館）③行先館（回送などにより、資料の移動予定先の館）の管理を実現されること	
2. カウンター業務				
カウンター業務全般	画面表示	36	貸出・返却・検索等の画面は、常時Windows画面に表示でき、その切替えがマウス・キーボードにより可能なこと	
		37	画面構成は、誤動作を起こしにくく、疲れを感じにくい作りになっていること	
		38	主要業務（貸出、返却、資料検索、利用者検索）については、各画面の識別が容易にできるように工夫されていること 例）複数画面を起動したとき、画面の一部の背景色を見れば、その画面がどの機能であるか識別できること	
		39	以下の一覧については、表示項目、位置、列幅を任意に設定できること また、1明細に複数行を表示する設定も行えること ・貸出処理画面における貸出中資料の一覧 ・返却処理画面における返却済資料の一覧 ・返却処理画面における貸出中資料の一覧 ・利用者貸出一覧画面における貸出中資料の一覧 ・利用者予約一覧画面における予約中資料の一覧（1利用者に対する予約タイトルの一覧） ・利用者検索における、検索結果利用者情報の一覧 ・資料検索における検索結果書誌情報の一覧 ・資料検索におけるローカル情報の一覧	
カウンター業務全般	コメント	40	利用者に対して、複数のコメント通知機能を持ち、忘れ物・落し物・その他の案内等を定型文・自由文で随時入れられること	
カウンター業務全般	コメント	41	情報非表示設定時でも、ワンタッチで利用者詳細画面へ展開し、利用者氏名／資料名が確認できること	
		42	資料に対して、複数のコメントを通知する機能を持っていること（付録、汚破損状況等を定型文・自由文で随時入れられること）	
		43	資料情報および利用者情報に付加するコメント（定型文、自由文）の数に制限がないこと	
		44	コメントの注意音は、貸出時のみ・返却時のみのようにコントロールできること	
貸出業務	貸出手順	45	利用者番号と資料番号のバーコード読み込みで完了すること	
		46	個人・団体・相互等、いずれの貸出処理も同一画面で行えること	
	貸出処理	47	資料番号を読み込んだ時点で貸出確定し、DBを更新すること	
		48	当日中に貸出処理をした資料の貸出取消が統計に反映することなく行えること	
		49	未返却資料を貸出処理すると、自動的に返却処理すること また、チェック画面を表示させ返却後貸出を行う、返却のみ行う、処理を行わないを状況に応じた職員判断により処理を行える設定もできること	
		50	不明資料を貸出処理すると、自動的に通常の状態区分に変更できること	
		51	資料種別（図書・雑誌・AV資料等）毎、館毎、利用者毎の貸出日数、延期日数、延期回数、種別毎の貸出点数、合計貸出点数が設定できること	
		52	貸出資料一覧から資料の返却と所蔵状態を不明状態（強制不明）への変更を同時にできること	
		53	予約していた資料を貸し出すと、予約データが消去されること	
		54	貸出処理時に表示される明細は自館又は自館グループに表示を限定することができること	
		55	利用者貸出一覧の画面にて、貸出館を「全館」「自館」「自館グループ」を切り替えて表示できること尚、初期値の値については、設定で変更できること	
		56	利用者貸出一覧の画面にて、貸出一覧の表示は「貸出館・返却期限順」「貸出館・貸出開始日順」の設定が可能なこと	
		施設カレンダー	57	施設カレンダーの休館日を設定することで返却予定日を管理し、また貸出画面での随時変更も可能なこと
			58	施設カレンダーは各施設毎に設定できること
		貸出期間設定	59	各館毎に貸出期限を設定できること
			60	貸出画面から任意に利用延長を行え、貸出期限票の印刷を行えること
61	貸出中資料の貸出期間延長・継続を任意に設定できること（ただし、予約資料・相互貸借資料時は自動的にチェックし、延期の可否を判断でき、また、設定によっては延期不可とすることもできること）			

別紙2. 『システム機能要件書』

I.機能一覧

業務分類	処理機能	項目	要求機能	
	画面展開	62	貸出中資料の延長を禁止する貸出日からの日数、延長を許可する返却期限日からの前後日数を任意に設定し、チェック対象となった場合は延期の可否を判断できること	
		63	貸出期間の変更が可能であり、その際にはキーボードからの入力のみならず一週間延長ボタンや、カレンダー画面表示からの選択の2種類が可能であり、入力の簡素化が実現されること（資料区分毎に変更可能なこと）	
		64	貸出基本画面より貸出期限変更、利用者仮登録、利用者検索、貸出・予約一覧、利用者詳細情報へ展開できること	
		65	バーコードの読み込みにより、貸出画面／返却画面切替および貸出・返却処理画面の起動が可能なること	
		66	利用者氏名、電話番号、住所、生年月日、状態区分等から利用者を検索した上で貸出処理へ展開できること	
		67	貸出資料の明細をダブルクリックすることにより、資料データの詳細情報（書誌詳細、ローカル情報一覧）が表示ができること	
	紛失登録管理	68	貸出一覧から継続貸出、強制返却、貸出取消、期限変更、紛失登録等の処理が可能なること	
		69	紛失登録時から、任意の貸出状態を選択し、紛失日、メモを管理し、紛失資料の管理を行えること	
		70	紛失登録した資料に対する督促対象から除くことができること	
		71	紛失した資料情報、利用者情報の帳票が用意されていること 帳票の出力項目には、発行日、発行館、タイトル名、人名、出版者、出版年、分類、価格、ISBN、資料番号、所蔵館を印刷し、利用者に渡すことができるように、切り取り線も併せて印刷できること	
		72	紛失登録画面から、除籍予定入力が可能であり、除籍予定入力日、除籍事由区分の入力が可能なこと	
	表示情報のクリア	73	個人情報保護の観点から、画面上に「表示クリア」ボタンを配置し、随時押すことにより表示情報クリアができること	
		74	個人情報保護の観点から、貸出し処理が終わった時点でその利用者への情報は全て画面からクリアされること（処理をしない一定の時間（設定可能）が過ぎると表示情報が自動的にクリアされること）	
	仮登録利用者への貸出	75	利用者の仮登録機能を有すること（その際、統計に必要な項目である性別・生年月日・地区コード・利用者区分は入力すること）	
	画面構成・表示	76	画面下部にキーボードのファンクションキー配列と同じボタンを配置し、任意の処理画面を展開できること（利用者番号読み込み時の割当ても設定できること）	
		77	利用者番号を読み込んだ時点で、利用者区分、資料種別毎の返却期限および既貸出資料数、延滞資料数、延滞資料（他予約あり）数、督促資料数、予約数、確保済み予約数を表示すること	
		78	既貸出資料（全資料、延滞資料、督促資料）の表示／非表示および色設定（文字色、背景色）の設定が可能なること	
		79	読み込んだ資料の表示パターンを変更でき、また表示する項目（資料番号、資料名、貸出期限等）についても、項目や表示幅等が変更できること	
		80	貸出資料一覧表示時、資料種別が表示され、何を何点借りているか確認できること	
		貸出業務	画面構成・表示	81
	82			個人情報保護の観点から、貸出した資料名の表示／非表示を予め設定でき、たとえ非表示設定時でも、貸出情報参照により資料名を確認できること
83	個人情報保護の観点から、利用者番号読み込み時には氏名を表示し、資料番号を入力すると表示していた氏名を隠すこともできること			
84	貸出画面から利用者の予約一覧画面を開き、予約状況の確認、予約取消が行えることまた、グループ予約、セット予約内容の確認、修正も行えること			
85	利用者の予約一覧画面では、割当済みの予約と未割当の予約の色を任意に設定できること また、未割当の予約については、「自館貸出可」「返却待ち」「発注中」等の状態も色識別表示できること			
86	貸出処理画面で、利用者の貸出中資料・予約中資料の一覧をワンタッチで表示できること			

別紙2. 『システム機能要件書』

I.機能一覧

業務分類	処理機能	項目	要求機能	
		87	画面上に当日の貸出状況（点数・利用人数）をリアルタイムに準じて表示できること（表示する情報は、①その端末での状況、②その施設での状況、③全館での状況とすること）	
		88	利用者の貸出状況一覧表示における延滞等の資料状態を色別表示できること	
		89	貸出処理時は、操作員が利用者番号読み込みと資料番号読み込みとを見間違わないよう、入力するフィールドの場所が変更になること また、資料番号フィールドで利用者番号を読み込んだ場合、利用者番号でありますを判断して自動的に利用者番号フィールドに遷移し表示させることができること	
		レシート印刷	90	貸出処理後、利用者氏名・連絡先・貸出資料・返却予定日・予約待人数・自由文等（端末毎に任意に設定可能）をレシートプリンタにより印刷できること
			91	貸出明細印刷時に、延滞貸出資料、予約延滞貸出資料、督促貸出資料、予約有り資料に対して、先頭に特定文字を印刷することができること
			92	代表返却期限日をレシート上段に印刷できること代表期限日は、貸出明細の中で返却期限が最も早いもの、最も遅いものを設定により変更できること
			93	貸出明細を資料名、資料番号の両方を印字できること
			94	貸出印刷指示時に明細行が0件の場合「あなたが借りている資料はありません」等の固定文字列が印刷できること
			95	貸出印刷指示時に広告として企業情報、商品情報などを印刷できること複数社に対応し、複数社の登録および登録された企業を順番に印刷できること
	96		イメージデータを印刷できること	
	97		貸出レシートは再出力が可能であること	
	98		レシートに出力する内容は、通常のプリンタへの出力も可能であること	
	操作員通知	99	バーコード入力以外のフィールドにフォーカスがある場合に、バーコード読み込み時に分かりやすい警告音を鳴らせること	
		100	通知はアラーム音・音声でも行え、端末毎に設定できること	
		101	貸出画面では、各種確認については確認する業務の性質上、必ずサブウィンドウで表示し、確認漏れのないようにすること	
		102	延滞資料有り・貸出点数オーバー・督促利用者・予約有利用者・除籍利用者・コメント有り等を自動的に音やメッセージで操作員に通知できることその際、ウィンドウによる通知も任意に行えること	
		103	コメント付き資料、除籍資料・不明資料・予約資料・持出禁止資料等を自動的にチェックし、音やメッセージで職員に通知できることその際、ウィンドウによる通知も任意に行えること	
	利用者カード	104	バーコードを印刷した利用者カードが利用可能なこと	
105		利用者カードのイメージを印刷できること また既に登録済み利用者でも未登録の番号で印刷できること		
106		利用者カード紛失への対応のため、登録済み利用者の利用者名、利用者番号、利用者番号バーコードをラベルプリンタで印刷できること		
オフライン対応	107	ネットワーク等の障害発生時にはオフラインによる貸出処理ができること		
その他	108	利用者に対するコメントチェックの際に、表示するコメントによってはチェックしないことが可能なこと		
返却業務	返却手順	109	返却する資料の資料番号を読み込むだけで返却を確定すること	
	返却処理	110	資料番号を読み込んだ時点でDBを更新し、完了処理等が不要なこと	
		111	不明・紛失資料の返却処理を行うと、自動的に無効を解除すること	
		112	ブックポスト等の多量の返却本を連続で返却する機能があること（返却済み資料の表示を残しておくこと） その際、レシート印刷はリアルタイムに行い、チェックされた内容の一覧リストをページプリンタで印字できること	
		113	返却画面貸出一覧から継続貸出、貸出取消、貸出延期、強制返却（不明処理）、一覧印刷の各処理ができること（返却期限票が任意に出せること）	
		114	家族連携登録をした利用者について、ワンタッチで家族の未返却資料一覧が表示できること	
		115	返却資料一覧表示時、資料種別（図書、雑誌、視聴覚資料等）貸出中資料が表示されること	
		116	返却手続きの際に、返却資料の保管場所情報を、処理端末の場所コードに変更するか否かを資料種別毎に設定できること	

別紙2. 『システム機能要件書』

I.機能一覧

業務分類	処理機能	項目	要求機能	
		117	返却資料の除籍状態区分が除籍予定である場合、返却資料の除籍状態を自動的に通常に戻すか否かを設定が可能なこと	
		118	返却手続きにおける関連利用者へのチェックにおいて、返却利用者と返却利用者の家族連携利用者を対象にするか否かを設定できること 但し家族については、あらかじめ設定した家族連携利用者に限定することが可能なこと	
		119	返却時に予約資料を識別することができること	
	画面展開	120	資料詳細確認・修正処理に移行ができること（複本情報に対しても同じ処理が可能なこと）	
		121	返却画面から貸出画面への展開は、利用者番号を読み込むだけででき、また、バーコードリーダによる画面切替えもできること	
	表示情報のクリア	122	個人情報保護の観点から、処理をしない一定の時間（設定可能）が過ぎると表示情報のクリアができること（「表示クリア」ボタンを配置すること）	
画面構成・表示	123	個人情報保護のため、返却第一画面では利用者名は表示しないこと（利用者番号表示、また当該利用者の未返却資料数および延滞数（うち予約有り数）の表示を端末毎に設定できること）		
返却業務	画面構成・表示	124	読み込んだ資料の表示パターンを変更でき、またその情報（資料番号・資料名・返却期限等）についても、表示する項目や表示幅等が変更できること	
		125	返却資料の保管場所毎に適用する背景色、文字色の設定が可能なこと	
		126	返却資料の受入形態区分毎に適用する背景色、文字色の設定が可能なこと	
		127	返却資料の更新後資料状態区分毎に適用する背景色、文字色の設定が可能なこと	
		128	返却資料の選択、読み込みにより返却者の詳細が確認でき、更に貸出・予約一覧を参照できること	
		129	画面下部にキーボードのファンクションキー配列と同じボタンを配置し、任意の処理画面へ画面展開できること（資料詳細、貸出情報等の参照機能も割当てられること）	
		130	返却画面で、画面を切り替えることなく、資料を返却した利用者の未返却資料一覧を表示できること	
		131	未返却資料の延滞・督促情報は色別（文字色・背景色）による表示が可能なこと	
		132	画面上に当日の返却点数をリアルタイムに準じて表示できること（表示する情報は、①その端末での状況、②その施設での状況、③全館での状況とする）	
		133	貸出資料一覧表示時、資料種別が表示されること	
		操作員通知	134	通知はアラーム音・音声でも行え、端末毎に設定できること
			135	確実に返却されない場合は、エラー音がでること
			136	返却した利用者に関する予約割当て、コメント情報のチェックがかけられること
	137		コメント付き資料・除籍資料・不明資料・借受資料・予約資料・未貸出資料等を自動的にチェックし、音やメッセージで職員に通知できること	
	返却者確認	138	資料を借りていた過去数名分の利用者の貸出状況を一覧表示で確認できること	
		139	返却者一覧から、当日返却した利用者名を選択し、レシート印刷ボタンを押すことで返却証明書をレシートに印刷できること	
		140	返却証明書には、利用者番号、貸出資料名、返却時刻および指定したメッセージを印刷できること	
		141	返却した資料は返却した時点で、貸出履歴を削除できること（項34の例外を除く）	
		142	返却された資料番号から、①当日中に限り②前々回利用者までに限りと運用に制限をつけ、返却者が確認できること	
オフライン対応	143	ネットワーク等の障害発生時にはオフラインによる返却処理ができること		
その他	144	返却資料の明細をダブルクリックすることにより、資料データの詳細情報（書誌詳細、ローカル情報一覧）が表示ができること		
	145	利用者を特定することにより、当日の返却済み資料を確認できること		
分館対応	146	所蔵館と返却処理をした処理館が異なる場合チェックし、画面にチェック画面を表示するか、表示しないか選択可能なこと		

別紙2. 『システム機能要件書』

I. 機能一覧

業務分類	処理機能	項目	要求機能
		147	他館所蔵の資料が返却された場合、所蔵館と処理館が異なる場合に ①所蔵館へ回送するために、状態区分を回送中とし、更に行先館を管理できること ②所蔵館を処理館に変更すること ③所在館は変更せず、所在館のみ変更することが可能なこと（この場合、所蔵館への回送処理が発生しない前提）
		148	他館所蔵から回送された資料の受入処理を返却処理バーコードスキャンのみで行えることができ、受入時に予約などの各種チェックを実施すること
	予約対応	149	返却された資料が他館受渡資料の場合、回送処理を実施し、本の状態を自動的に①予約回送中②通常回送中③回送中にしないを選択可能にすること
	レシート印刷	150	予約されていた資料の返却時に、予約割当て対象利用者の情報を自動的に印刷できること（分館・閉架回送指示票、相互貸借資料返却支持票等の出力もできること）
		151	他館所蔵の資料が返却された場合、所蔵館が異なることを通知し、所蔵館への回送指示票を印刷できること
		152	予約受渡館として他館を設定している資料が返却された場合、予約回送を通知し、予約回送指示票を印刷できること
		153	予約割当てレシートの再出力が可能であること
		154	次のレシートに任意に登録した画像を印字できること 返却期限票／利用者番号通知票／資料レシート／書誌レシート／予約状況レシート／タイトル一覧レシート
		155	レシートに印字する画像は複数登録でき、順番に印刷できること
		156	レシートの画像は印字期間に登録し、開始／終了の管理ができること
資料検索業務		検索速度	157
資料検索業務	資料検索業務	158	資料名・著者名・出版者・ISBN・分類・MARC番号・内容細目等のMARCデータを有効に活用した検索および、タイトルコード、請求記号・資料番号を検索項目にできること
		159	資料区分の複数選択による横断検索ができること
		160	所蔵の有無、発注中資料の混在検索ができること
		161	論理演算子（AND、OR、NOT）を使用し、複数項目間の複合検索が行えること（5項目以上の複合検索に対応すること）
		162	項目により前方／後方一致、完全一致、中間一致で検索が行えること
		163	各種検索キーをカナ・漢字・アルファベットの全半角・大文字小文字両方で同じ検索が行えること（同音異語でも検索でき、清音規則は任意に設定できること）
		164	検索中断キーを有するほか、中断件数を設定できること（少ない文字数での検索の際、完全一致検索にするかどうか設定できること）
		165	資料名・著者名・件名・内容細目など、項目を選択しない形の「全文検索」が行えること
		166	全文検索と通常検索（前方一致等）は同一画面で行え、全文検索の条件と通常検索の条件との掛け合わせもできること
		167	請求記号等の所蔵（ローカル情報）項目を一次キーとして検索できること（書誌項目との複合検索が行えること）
		168	検索対象の絞り込み条件が設定できること（基本的なこと（資料種別・保管場所・所在館・状態区分等）は第一画面で設定、検索でき、リストアップができること）
169	種別、所蔵館、保管場所、所在館、状態区分、受入区分、予算区分、除籍状態、貸出開始日の検索およびリストアップができること		
資料検索業務	資料検索業務	170	資料詳細情報確認画面から、書名、著者、出版者のリンク表示を行い、各項目をクリックすることで、選択項目を検索条件とした検索処理を実行することができること
		171	本に印刷されているISBNバーコードを読み取って検索できること
		172	1文字検索時には、完全一致となることができるように設定が可能なこと 但し2文字での検索で完全一致とならないように設定が可能なこと
	印刷	173	検索した一覧をページプリンタ又はレシートプリンタに印字可能なこと
		174	検索した一覧を紙に出力する以外に、CSVおよびPDF形式に出力可能なこと
		175	レシートプリンタに印刷する際には、指定した明細から件数を指定した一覧印刷が可能なこと

別紙2. 『システム機能要件書』

I.機能一覧

業務分類	処理機能	項目	要求機能
	絞込条件	176	ローカル項目（資料種別、所蔵館、保管場所、所在館、状態区分、受入形態区分、貸出区分、受入先、予算区分、購入区分、媒体区分、利用対象、流通区分、刊行形態）の組み合わせを絞り込み条件として選択可能であり、任意に絞込みのパターンとして上記区分の組み合わせを保持できること
	典拠検索	177	内部で管理している典拠番号により、同名異人特定検索、ペンネーム等の別名の自動検索ができること（その関連を一覧画面で確認できること）
178		画面から典拠対象の追加・修正・削除が行えること	
179		外部人名典拠ファイルからの一括登録も可能なこと	
	再検索	180	検索条件を自動的に保存（保存件数は任意に設定できること）し、後から再検索できること
181		目録画面にて、目録の次の項目から再検索ができること ・書名（書名／版書名／シリーズ名等）、著者、出版者 ・標目（タイトル、著者、件名）	
	画面展開	182	検索を実行した結果、該当件数が一定の件数以下の場合、一覧画面に自動的に遷移できることまた、その件数は任意に設定できること
183		検索結果一覧画面から複本（ローカル）一覧画面、発注画面・目録画面・予約画面・資料詳細画面へ展開できること	
184		複本一覧画面にて貸出中の資料表示時、ワンタッチで利用者詳細画面へ展開し、利用者氏名、電話番号等が確認できること	
185		複本一覧画面にて貸出中の資料表示時、ワンタッチで貸出一覧、予約一覧画面へ展開し、貸出中資料、予約中タイトルの確認できること	
186		書誌一覧画面、もしくは、複本一覧画面から、書誌登録、所蔵登録、予約・発注処理の各画面に展開できること	
187		検索結果一覧画面で明細行をダブルクリックすることにより、予め設定された画面（複本一覧・目録表示・予約一覧・発注一覧・資料詳細）に展開できること	
188		検索結果一覧画面から、MARCタグ単位の書誌情報一覧画面に遷移できること	
189		複本一覧画面にて貸出中の資料表示時、ワンタッチで督促連絡依頼表の出力画面へ展開し、督促連絡依頼表を貸出館のプリンタに直接出力できること	
	画面構成・表示	190	検索結果を随時保存（件数は任意に設定）し、選択することにより最新の検索結果を表示すること（同一館内であれば他の端末でも保存した結果を利用できること）
191		特定書誌の資料の所蔵資料・未所蔵資料・発注中資料等の状態が検索結果から把握できること	
192		書誌の詳細情報を目録カード形式で表示できること（目録表示は目録カードと同じく、全てのデータをカード形式で表示すること）	
193		検索結果の書誌一覧内に代表サブタイトルを表示できること また、選択中の書誌に対応する全サブタイトルを一覧外に表示できること	
194		検索結果から所蔵状態（不明資料・除籍・貸出中等）の把握・修正が行えること	
195		検索結果一覧画面より検索結果一覧の印刷が行えること	
196		検索結果一覧画面は登録順（最新が上）を常態とし、書名順・著者名順・分類順（任意に設定可能なこと）に並べ替えできること	
197		検索結果一覧で現在貸出可能、貸出中、他館貸出可能、所蔵なし資料等を背景色または文字色で色分けして表示できること	
198		検索結果として表示する項目は任意に設定できること	
199		予め画像や音声を登録した資料であれば、資料詳細画面からその画像や音声を参照することができること	
利用者登録業務	住所入力	200	住所ファイルを有し、住所コードにより住所登録できること（住所コードの入力または選択により、住所・郵便番号が自動的に入力されること）
		201	郵便番号入力確定時、住所ファイルから該当する住所コードを参照し、自動表示できること
		202	住所コードの入力簡易ツールとして住所コード名（カナ）もしくは郵便番号を入力すると該当資料コード一覧が表示し、簡易にコード入力が可能なこと
		203	広域地域の住所コード・地区コードが入っていて、利用者登録時に利用できること
	電話番号	204	複数の電話番号および連絡先を登録できること（この時、「保護者」「通勤先」などと別枠で入力でき、表示されること）

別紙2. 『システム機能要件書』

I.機能一覧

業務分類	処理機能	項目	要求機能
	登録処理	205	利用者の登録、既存利用者の登録情報の修正、登録利用者の除籍、利用者カード紛失時等の再発行処理を行えること
		206	家族の2人目を登録すると、以降は電話番号入力後ワンタッチで利用者データを複写し、氏名・生年月日・性別等を直すだけで次々に登録することができること（前入力データのコピー機能を有すること）
		207	利用者の検索機能を有すること
		208	登録（修正）処理した利用者の履歴を参照することができ、次利用者の登録・修正処理にそのデータを活用できること
		209	利用者を修正する場合、同じ電話番号や住所を持つ利用者、または家族連携した利用者の情報も一括で修正できること
		210	生年月日を西暦でも和暦でも登録できることまた西暦で登録した場合、次回利用者情報を読み込み時は、登録したときと同じ形式（和暦、西暦）で表示されること
		211	利用者名入力時に、自動カナ振り機能を有すること（漢字のローマ字入力に基づいて振れること）
利用者登録業務	仮登録	212	貸出画面からワンタッチで利用者仮登録画面に展開し、簡易に利用者仮登録を行うことができること
		213	利用者仮登録画面の初期入力位置を、利用者番号に設定可能なこと仮登録時に利用者番号以外の入力を省略することが可能なこと
利用者登録業務	再発行	214	図書利用データ（貸出状況等）を引き継いでの利用者カードの再発行・番号置換ができること
		有効期限	215
	二重登録チェック	216	利用者氏名カナ、電話番号、生年月日で二重登録利用者のチェックを自動的に行えること
		パスワード登録	217
	218		E-Mailは最大6個まで登録できることまた、予約確保時の連絡先、督促の連絡先として、どのE-Mailでも指定できること
	219		パスワード入力画面にてパスワードを表示するか、非表示とするか選択可能なこと
	220		パスワードの非表示の際に職員のみ確認ができるように、パスワード入力により表示する機能を用意していること
	221		ランダムなパスワードを発行できる仮パスワード機能を有すること 但し桁数等の基本情報を設定することができること
	コメント管理	222	利用者のチェック機能として定型コメントの選択とフリーな文字を入力できること
		223	利用者コメントの種類により、利用者バーコードスキャン時に①毎回表示するコメント②表示後消去するコメント③チェックしないコメントの選択が可能なこと
	管理情報	224	管理項目として、データ登録館、データ登録サービスポイント、カード発行日、貸出形態区分、状態区分、除籍日、再発行回数、最終利用日の管理を行えること
		225	利用者毎の過去5年分の利用実績（貸出数、利用回数）を参照できること
	その他	226	年齢は生年月日から自動計算し表示すること（年次処理等は不要であること）
227		利用者カードの有効期限は自由に設定できること	
予約リクエスト業務		予約処理	228
	229		利用者単位の予約上限数を設定し、新規予約登録時に上限追加する場合は確認画面を表示し、続行・中断が選択できること
	230		利用者単位の予約上限数は、資料区分（図書、雑誌、AV）の任意の組み合わせにより設定できること
	231		特定した予約（割当て済みを含む）を解除できること
	232		予約処理画面から利用者を検索し、利用者の設定ができること
	233		受付館・受渡館を設定することができ、貸出・返却業務とも完全連携が行えること

別紙2. 『システム機能要件書』

I.機能一覧

業務分類	処理機能	項目	要求機能
		234	館同士の資料の予約連絡をシステムと関係したメッセージ機能により行えること また、受け取った内容に関して確認や拒否等を行えることができ、関係する資料、利用者の詳細情報を表示、修正することができること
		235	資料一覧画面で複数の資料を選択し、連続・一括予約を行えること
		236	グループ予約（複数資料に任意の予約数を割当てること）が可能で、課題図書等への予約管理が可能なこと
		237	グループ予約で複数の課題図書等の特定資料に予約をしても、任意の冊数貸し出すと他の特定の資料の予約も自動的に削除されること
		238	予約の優先順位を設定するセット予約が可能で、上下巻等の巻号管理を行えること
		239	通常予約済みの複数予約情報を後からグループ予約、セット予約ができること
		240	貸出可能資料が自館になく他館にはある場合に、他館に対して予約回送依頼のメッセージをシステムから送信し、管理することができること
		241	予約の連絡について連絡済、未連絡を管理でき、連絡済から一定期間（任意設定可）貸出されない予約資料を抽出・割当解除することで次の予約者が利用可能なこと
		242	利用者番号と資料番号の入力による現物予約機能を有し、この場合でも複本管理予約ができること（予約棚にある資料を使い直接予約をかけられること）
		243	複本がある場合、全ての複本に予約がかかり、どれか一冊が返却された時点で予約通知が行えること
		244	相互貸借資料の予約にはチェック機能が働くこと（予約対象のタイトルが全て借受資料のときに注意メッセージが表示されること）
		245	資料番号を入力し、特定資料に対して予約が可能なこと
		246	特定資料に対して予約された資料は他の利用者に対して予約割当されないこと
		247	予約メモ情報は、返却時に出力されるレシートに印字可能であること
	予約管理情報	248	予約処理の受付館、受渡館の選択が可能なこと
		249	予約した際の予約日時を管理することができること
		250	予約された資料の割当方法（返却待ち、借受待ち、発注待ち等）の情報を管理できること
		251	受取希望日の入力、管理が可能なこと
		252	受取希望日を過ぎた予約がある場合、貸出画面や返却画面でメッセージが表示され、利用者に確認ができること また、受取希望日を過ぎた予約リストを出力し、予約の一括取消ができること
		253	予約申込方法（来館予約、電話予約、OPAC予約、Web予約）の管理ができ、申込方法ごとの統計資料が出力可能なこと
予約リクエスト業務	予約管理情報	254	資料の予約回送が無駄なく行うため3件の予約に対して各館で重複して資料を確保しないよう、予め設定した受渡館ごとの優先順位を加味して自館に所在している予約割当対象資料のリストが出力されること
予約リクエスト業務	予約連絡管理	255	予約リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・出力対象：全件、割当済のみ、未割当のみ ・範囲指定：予約受付日、予約受取希望日、資料区分、予約受付館、予約受渡館、利用者区分、予約申込区分
		256	予約連絡管理として、以下の抽出条件により、データの抽出をし、予約連絡済の入力を管理およびメールによる一括送信が可能であること ・抽出条件：利用者番号、予約割当日、予約受付日、受付館、受渡館、電話番号、連絡方法（電話、E-Mail等）
	予約制限	257	予約したタイトルに対して、割当対象館を特定館のみと指定することができること
		258	予約したタイトルに対して、割当対象館を複数指定できること

別紙2. 『システム機能要件書』

I. 機能一覧

業務分類	処理機能	項目	要求機能	
		259	予約したタイトルに対して、割当対象館を市町村等グループで指定できること	
		260	特定資料に対して、期間を指定した予約受付制限を実施すること	
		261	予約割当制限にて、特定資料に対して予約割当を不可とする設定が可能なこと	
		262	予約割当を禁止したい（予約させたくない）資料を特定の別置/分類や保管場所で指定することが可能なこと	
		263	長期延滞資料（貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する）のある利用者が予約しようとした場合、メッセージを表示して予約できないようにできること また、職員判断により予約を受付ける設定にもできること	
		予約上限	264	予約の上限設定に、申し込み方法（窓口/電話/OPAC/Web）およびタイトルの媒体区分ごとに予約の上限設定が可能なこと
			265	1日に予約可能な件数を制限できること（申し込み方法毎）
			266	予約したタイトルに対して、割当対象館を市町村等グループで指定できること
		予約変更・取り消し 画面展開・表示	267	予約変更・取り消しの履歴を保存し、帳票に出力可能なこと
			268	返却や受入等により利用可能となった利用者を抽出し、予約連絡一覧を表示できること
			269	検索結果から予約処理に展開することができること
			270	予約者の予約・貸出状況（予約数・貸出数・督促数・延滞数）を予約受付画面に表示できること
		優先順位	271	予約者の一覧を、氏名をつけてワンタッチで出せること
			272	基本的に予約した順で優先を決めるが、予約順位の変更が簡単な処理で可能なこと
相互貸借業務	予定入力	273	他館からの相互貸借の予定を入力でき、相互貸借の依頼表を出力可能なこと	
	受入処理	274	借受資料を自館資料登録と同様の操作で登録、修正が行えること（借受資料登録用の専用画面は持たないこと）	
		275	他館からの相互貸借の予定を検索し、該当する資料を特定し、受入処理して一般利用者に対する貸出ができること	
		276	どこの館からどの資料を借りているか画面で表示できること（借受館へ返却済みか等の状態も表示できること）	
		277	借受資料の登録は、事前に借受の予定を入力していなくても、資料到着後に登録して受入処理ができること	
		278	借受予定入力の際には、タイトル、著者名、出版社、出版年月、ISBN、分類番号、資料番号、請求記号、借用館、借用予定日等が入力できること	
		279	借受予定の資料に予約がかけられること	
	借受先への返却期限	280	借受資料単位にの借受先への返却期限を管理できること（一般利用者に対して貸出をする際に、他館資料の貸出期限と自館資料の貸出期限をチェックし、他館資料の貸出期限が短い場合、貸出期限が短い場合、貸出時に注意メッセージを表示できること）	
	返却処理	281	他館資料を返却した際に、借りた履歴を残すためにタイトル情報を保存するかどうかを選択できること（次回再利用できること）	
	履歴	282	他館資料の借受状況を、タイトルや借受日等から検索でき、どこの施設から借りたかの管理が可能なこと	
		283	借受資料の履歴を表示する際、借受期限切れ資料の確認が容易にできること	
	統計処理	284	年報（相互貸借館毎・分類毎の貸出点数、借受点数）や実績一覧（借受タイトル・貸出タイトル）が印刷できること	
	3. 資料管理業務			
書誌データ管理業務	書誌データ管理業務	285	典拠データを利用してMARCデータを登録できること	
		286	日販MARCに対応すること（人名典拠・内容細目・学習件名等の各種サブファイルの登録・活用ができること）	
		287	TRCMARC（U、Tタイプ）、OPLMARC等の各種MARCに費用を追加することなく対応できること	

別紙2. 『システム機能要件書』

I.機能一覧

業務分類	処理機能	項目	要求機能
		288	MARCの各種書誌情報（記事・内容等）を登録・修正することができ、検索対象とすることができること
		289	複本資料も、既登録資料のMARCデータを利用して登録できること
		290	MARCデータを直接取り込んで書誌を登録できること
	AV-MARC	291	各種AV-MARCに対応していること
		292	各種情報を可変長にして登録し、検索することができること
		293	複数所蔵資料のデータ管理が行えること
	資料管理帳票	294	所蔵資料の資料区分・統計分類ごとに点数・金額を集計し、内訳表を出力できること
書誌データ管理業務	資料管理帳票	295	集計結果を画面で確認でき、必要に応じて印刷できること
		296	統計データをExcelと連携し、2次加工できること
ローカルデータ管理業務	ローカルデータ管理	297	ローカル情報で「所蔵館」「所在館」等の詳細情報を管理して分館連携に対応できること
		298	ローカル情報に定型コメントおよびフリーコメントを入力できること
		299	ローカル情報を資料バーコード読み込みによる連続変更および条件の範囲指定による一括変更ができること（所蔵館・場所変更・禁帯区分等の付与／変更、コメントの付与等）
		300	借受資料登録時は借受先が入力できること
		301	資料の寄贈者情報の入力ができ、寄贈者単位での冊数確認および一覧表の印刷が可能なこと
		302	複本のデータ管理が行えること
		303	資料の除籍・復籍処理が連続で行えること
		304	蔵書点検用携帯端末で読み込んだバーコード情報により、任意の複数の各区分の一括変更ができること
	蔵書点検	305	蔵書点検の際、除籍・未登録・配架場所相違等のチェックリストを出力できること
		306	蔵書点検の際、不明資料・未返却資料については、自動的に通常状態にし、返却処理を行えること
		307	蔵書点検は蔵書点検用携帯端末、業務用クライアントで作業ができること
		308	不明更新を行う前に不明候補資料の一覧を印刷できること
		309	任意指定回数以上の不明資料を一括で除籍に変更できること
		310	蔵書点検中に通常返却処理を実施することが可能であり、返却された資料は点検済みとなること
	その他	311	借受け先別順の資料リストが出せること
		312	弁償待ち資料の一覧が作成、印刷できること
	雑誌管理業務	雑誌管理	313
314			タイトルと巻号情報が分けて管理されること
315			各種データを可変長にて登録し、検索できること
316			最新号の登録時に直前号の巻号情報を初期表示できること
317			逐次刊行物（雑誌等）の欠号・増刊管理ができること
318			逐次刊行物等の製本（合本）処理ができること また、製本された資料のタイトル情報は移行され資料検索できること
319			最新号を受け入れたタイミングで、それ以前の巻号は自動的に貸出可能となること

別紙2. 『システム機能要件書』

I.機能一覧

業務分類	処理機能	項目	要求機能
その他	外部公開	320	おすすめ等の外部公開蔵書データの作成に特集資料管理機能を利用できること
	その他	321	貸出期限日・所蔵館・資料種別・除籍対象外貸出状態区分で特定した未返却資料を一括で除籍できること
4. 選書業務			
選書業務	選書管理	322	ISBN番号から選書登録ができること
		323	MARCを利用して選書登録ができること
		324	TOOLi連携時には、TOOLiを利用したMARC番号入力により選書登録ができること
		325	見計らい本等を使用して、選書候補となる資料を「選書登録」または「一括選書登録」ができること
		326	発注前の選書状態を管理するための状態区分があること
		327	選書リストに出力されたバーコードを読み込み、発注の状態を変更できること
		328	選書リストに出力されたバーコードを読み込み、選書取消ができること
		329	選書登録した資料を一括で発注処理ができること
		330	選書の一括発注時に選書保留状態の資料が発注対象にならないこと
		331	選書登録画面で各館の選書状況が確認できること
		332	選書の一括登録時、館ごとの注文数を指定して登録できること
		333	登録した選書情報を選書リストに出力できること
		334	選書リストに発注番号のバーコードを出力できること
		335	選書リストに出力したバーコードを利用し、資料の選書状態/保留状態を変更できること
5. 発注・受入管理業務			
発注・受入管理業務	発注・受入確認	336	発注状況、受入状況が画面で確認できること
		337	発注中の図書資料についてもMARCで検索できること（発注中のステータスを画面上に表示できること）
		338	発注図書にそのリクエスト者を（複数）入力できること
		339	新刊MARCやTRCDを利用した発注が可能なこと
		340	インターネットを利用したMARCデータの受発注システム（TRCのTOOLi等）に対応すること
		341	同一タイトルに対する「二重発注」のチェックを可能とするため、発注点数を表示すること（他に何点発注しているか分かること）
		342	新刊案内等に印刷されたバーコードを読み込むことにより、発注データの作成が可能なこと（一点毎の確定を必要としないこと）
		343	発注の取消が行えること
		344	発注する資料のMARC番号、ISBN番号を連続して入力することにより、一括発注ができること
		345	TRCの発注データを作成できること（作成・抽出したデータは一覧形式で印刷できること）
		346	新刊MARC一括登録時、「新刊急行ベル」などの資料は自動で発注データを作成できること（TRCの発注データは作成しない）
		347	発注の取消ができ、取消した発注情報は履歴として残すことができること
発注・受入管理業務	受入処理	348	受入処理が終了した資料については、受入図書リストに出力できること（受入区分・受入日・資料種別順などでリストアップできること）
		349	発注管理ファイルと受入管理ファイルのデータを定期的にマッチングさせて、未納入図書リストを書店毎に出力できること
発注・受入管理業務	受入処理	350	発注情報を参照しながら受入処理が行えること
		351	資料のISBNバーコードを読み取って書誌を特定して受入できること
		352	各種MARCデータにより一括受入後、専用画面で検収処理が行えること（検収画面では、必要に応じてローカルデータの修正が行えること）
		353	受入後一定期間、新着資料として識別することができること
		354	新着資料案内を印刷できること
		355	資料の受入先（書店等）が複数の場合でも予算管理ができること
		356	発注時処理から予算の差し引き処理が自動連携できること
		357	受入処理から予算の差し引き処理が自動連携できること
発注・受入管理業務	予算管理	358	年度毎・月毎に予算額・発注額・受入額・予算残額・受入残額が管理できること
		358	年度毎・月毎に予算額・発注額・受入額・予算残額・受入残額が管理できること
6. 利用者管理業務			

別紙2. 『システム機能要件書』

I.機能一覧

業務分類	処理機能	項目	要求機能	
利用者管理業務	利用者検索	359	利用者氏名（カナ・漢字・アルファベットで全半角混在で可能）・電話番号・生年月日・利用者区分・E-Mail・利用者状態区分・利用者番号・連絡先名・連絡先電話番号・郵便番号での検索処理が行えること	
		360	複数の項目に入力することによりAND検索ができること	
		361	入力した検索条件に該当する利用者と、その利用者に対して事前に関連付けした家族利用者を同時に検索し、検索結果にまとめて表示できること	
		362	入力した検索条件に該当する利用者と、電話番号、もしくは、住所が一致する利用者を家族利用者として同時に検索し、検索結果にまとめて表示できること	
		363	検索中断件数を設定できること（検索中断キーにより任意に中断できること）	
		364	検索結果画面は条件入力画面と同一画面で表示されること	
		365	利用者一覧にて表示できること項目の種類・幅・順番を任意に設定できること	
		366	利用者の詳細情報を表示できること（氏名・電話番号・生年月日・年齢・住所・最終利用日・督促累積回数・有効期限・貸出資料一覧・予約資料一覧・コメント等が確認できること）	
		367	検索された利用者を特定することにより、貸出中資料、予約中資料の確認、処理展開ができること	
		368	検索された利用者を特定し、その家族が検索できること（家族連携対象者および電話番号一致利用者）	
		369	デフォルトカーソルの位置は、任意設定が可能なこと	
		370	入力した電話番号ですべての連絡先の電話番号を検索できること	
		利用者抽出	371	団体利用者・相互貸借利用者毎のリストが出せること
			372	地区別に利用者集計を出力できること
	373		抽出結果を画面で確認でき、必要に応じて印刷できること	
	374		統計データをExcelと連携し、2次加工できること	
	利用者処理	375	利用者一覧画面から選択した利用者の番号置換え・再発行・有効期限更新・一覧印刷が可能なこと	
	無効処理	376	最終利用日から一定期間（任意に設定可）を過ぎた利用者（除籍）にできること	
	督促・予約処理	377	貸出期限・貸出館・資料種別・利用区分・予約状況によって督促対象者の抽出・設定ができること	
		378	一定期間以上未返却の資料、または返却予定日の範囲指定および督促回数により、督促はがきを印刷できること（印刷する利用者を任意に選択できること）	
		379	督促対象資料中の予約資料のみを抽出し、督促対象設定・はがきの印刷が可能なこと	
		380	返却予定日の範囲指定、督促回数、予約状況、借受け資料、貸出館により、督促リストの印刷ができること（氏名や電話番号・住所・資料種順に打ち出せること）	
		381	督促状で保護者を設定している場合は保護者の印字もできること	
		382	督促状に資料名・資料番号のいずれを印字するか選べること	
		383	督促はがきにコメントを印刷できること	
		384	はがきに「料金後納郵便」を印字できること	
		385	督促状はA4サイズ用紙にも対応できること	
		386	督促状は封書（B5サイズ）にも対応できること	
		387	督促状は秘匿感熱用紙（はがき）にも対応できること	
		388	予約連絡メールをシステムから送信できること	
	紛失・弁償管理	389	複本一覧画面から、貸出中資料の貸出利用者に対して督促連絡を依頼する督促連絡票を、貸出館のプリンタに直接出力できること	
		390	貸出中資料を利用者が紛失した場合に、紛失中または弁償中という状態を	
	予約連絡管理	391	紛失資料の一覧が印字できること	
		392	予約リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・出力対象：全件、割当済のみ、未割当のみ、予約状態 ・範囲指定：予約受付日、予約受取希望日、資料区分、予約受付館、予約受渡館、利用者区分、予約申込区分	
		393	予約連絡管理として、以下の抽出条件により、データの抽出をし、予約連絡済の入力を管理およびメールによる一括送信が可能なこと ・抽出条件：利用者番号、予約割当日、予約受付日、受付館、受渡館、電話番号、連絡方法（電話、E-Mail等）	

別紙2. 『システム機能要件書』

I.機能一覧

業務分類	処理機能	項目	要求機能	
	督促連絡管理	394	督促リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・抽出条件：貸出期限、督促回数、貸出館、資料種別、利用者区分、貸出状態、予約受渡館、連絡方法 ・利用者に対して督促対象外コメントを入力した場合、リストから対象外とすること ・上記督促リストは督促処理などのバッチ処理を不要とすること	
		395	督促連絡管理として、以下の抽出条件により、データの抽出をし、督促連絡済の入力を管理およびメールによる一括送信が可能なこと ・抽出条件：利用者番号、貸出期限日、督促日、督促回数、督促回数、貸出館、貸出状態、連絡方法（電話、E-Mail等）	
		396	督促連絡済の記録について、資料毎の連絡回数と各連絡時の情報（連絡日、連絡方法、備考等コメント）の管理が可能なこと	
利用者管理業務	E-Mail機能	397	次の画面から対象の利用者に対しE-Mailの入力画面を開き、連絡用のメールを送信する機能を有すること 利用者貸出一覧画面、利用者予約一覧画面、利用者詳細画面	
		398	利用者の貸出一覧上で、連絡メールを送信したい貸出資料情報を選択し連絡できること	
		399	利用者の貸出一覧上で、連絡メールを送信したい貸出資料情報を選択し連絡する時、家族連携利用者には本人と家族の貸出情報を連絡できること	
		400	利用者の貸出一覧上で、連絡メールを送信したい利用者とその家族の貸出資料情報を選択し連絡する時、家族利用者の貸出資料が含まれていることを確認するメッセージが表示されること	
		401	利用者の予約一覧上で、連絡メールを送信したい予約資料情報を選択し連絡できること	
		402	利用者の予約一覧上で、連絡メールを送信したい予約資料情報を選択し連絡する時、家族連携利用者には本人と家族の予約情報を連絡できること	
		403	利用者の予約一覧上で、連絡メールを送信したい利用者とその家族の予約資料情報を選択し連絡する時、家族利用者の予約資料が含まれていることを確認するメッセージが表示されること	
7. OPAC機能				
OPAC機能	全般	404	タッチパネルディスプレイを利用したシステムであること	
		405	ひらがな、カタカナ、数字、特殊文字の文字入力が可能なこと	
	検索	406	フリーワードによる検索時、条件を空白で区切って複数入力することでAND/ORによる複合検索ができること	
		407	資料種別（図書・雑誌・AV（CD・ビデオ・DVD等））または全資料より選択して検索できること	
		408	検索対象とする館を自館のみか全館か選択した上で検索できること	
		409	雑誌は雑誌タイトル毎に「スポーツ」等のジャンルが設定でき、ジャンル選択によるタイトル一覧が表示できること	
		410	タイトル・著者名（典拠データ参照）・キーワード等より選択して検索できること（一般書か児童書かで絞った後でも可能なこと）	
		411	50音表記から検索キーの入力ができること（この時表示されるキーボードは右並び、左並びが選択可能なこと）	
		412	検索中断ボタンにより検索処理の中断ができること	
		413	検索結果の一覧表示時に、検索キーワードをハイライト表示できること	
		414	検索結果が並べ替え（ソート）可能なこと	
		415	フリーキーワードによる中間一致検索が可能なこと	
		416	検索結果が複数ページにわたる場合、指定したページ（先頭ページ、最終ページ、ページ番号指定）に直接移動できること	
		417	特定保管場所の資料を検索対象外とすることができること	
		418	予め設定した任意の期間を超えて延滞している資料を検索の対象外にできること	
		419	発注中の資料をWebOPACで公開でき、検索／予約の対象にできること	
		420	検索結果に発注中の資料があるとき、タイトル一覧画面で資料状態が発注中であることがひとめでわかること	
		421	館内OPACでキーボードを使用することなく、漢字検索を行うことができること	
		画面構成・表示	422	大人用・子供用の画面を用意し、利用者が使いやすい機能であること
			423	画面を触らない時間（任意設定）が一定を過ぎたら、お知らせ等の自動表示、もしくは初期画面に戻る
			424	一覧表示形式は、タイトル毎に横形式に表示すること
			425	配架場所を画像表示できること

別紙2. 『システム機能要件書』

I.機能一覧

業務分類	処理機能	項目	要求機能	
		426	資料情報明細欄に表示させる項目・幅・見出しが自由に設定できること	
		427	除籍予定や不明資料などは表示されません（状態区分により、任意に設定できること）	
		428	パラメータ管理により、タイトル詳細画面の内容紹介欄の表示を以下の3パターンに設定できること ・内容紹介を非表示にする ・内容紹介が複数あるとき、先頭の1件を表示する ・内容紹介が複数あるとき、紹介データごとに改行し、すべての内容紹介データを登録順に表示する	
	予約		429	館内OPACから、利用者番号、パスワードの認証により、予約受付が可能なこと
			430	予約受付時に、予約受渡館、連絡方法、連絡メモを入力可能なこと
			431	予約受付時の、予約受渡館、連絡方法、連絡メモを省略可能なこと
			432	予約受渡のサービスポイントを受渡場所グループと受取場所の二段階で管理し、予約処理時に受取場所を選びやすくできること
			433	選択したグループに属する受取場所が1つしか存在しない場合、自動的に受取場所の選択画面をスキップして次の画面に遷移できること
			434	予約後、受渡場所を利用者自身で変更できること
			435	検索した資料が貸出中、もしくは他館にある場合は利用者用端末システムから予約をかけることができること（利用者番号とパスワードを入力すること）
			436	館内OPACからの予約変更・取り消しの履歴は、職員の業務端末で抽出・印刷ができること
	セット予約		437	予約の優先順位を設定するセット予約が可能で、上下巻等の巻号管理を行えること
	貸出・返却		438	バーコードリーダを設置することによって、利用者自身が貸出・返却手続きを行えること
	利用状況照会		439	利用者が現在借りている資料が一覧で確認できること
			440	利用者が現在借りている資料について延長処理ができること（利用者および資料の状態が延長可能条件を満たした場合に限る）
			441	利用者が現在借りている資料一覧をレシート印刷できること
			442	利用者が予約中の資料と予約確保されている資料が一覧で確認できること
			443	利用者が予約中の資料について予約取消ができること
			444	利用者が照会した予約一覧をレシート印刷できること
	利用情報変更		445	利用者のパスワードおよびメールアドレスの変更が可能なこと
検索結果印刷		446	検索一覧の印字、資料詳細情報の印字が可能なこと（レシートプリンタ等）	
		447	一画面で、印刷ボタンは1回しか押せないようにできること（連打防止の機能を有すること）	
レシート印刷		448	館内OPACから予約受付票をレシートに印刷できること	
OPAC機能	レシート印刷	449	予約受付票には予約した利用者について以下の情報が出力できること 利用者バーコード／利用者番号／利用者漢字／利用者カナ／予約受渡館／予約受渡SP／予約連絡方法	
		450	予約受付票には予約した資料について以下の情報が出力できること 資料バーコード／資料番号／タイトル／著者／出版者／出版年／ページ数／価格／請求記号	
		451	次のレシートに任意に登録した画像を印字できること 返却期限票／利用者番号通知票／資料レシート／書誌レシート／予約状況レシート／タイトル一覧レシート	
		452	レシートに印字する画像は複数登録でき、順番に印刷できること	
		453	印字期間を登録し、開始／終了の管理ができること	
	お知らせ		454	催し物表示ができること
			455	テーマ毎に集めた資料や紹介したい資料を図書館からのおすすめ本として表示できること
			456	案内お知らせ機能で、施設カレンダー情報を各施設毎にカレンダー形式で表示できること（システムと連動して自動的に表示できること）
			457	新着資料・新刊資料・貸出ベスト資料・予約ベスト資料の表示機能があること（予め設定した条件・抽出サイクルにより自動作成されること）
			458	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト資料・おすすめ本は一覧を表示するだけでなく、一覧をタッチすることにより資料の詳細情報へ移り、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること
統計処理		459	館内OPACのアクセス統計がとれること	

別紙2. 『システム機能要件書』

I.機能一覧

業務分類	処理機能	項目	要求機能
		460	館内OPACのページ別にアクセス統計をとることができること
		461	館内OPACのアクセス統計は、期間指定により曜日、自館別の集計を行うことができること
8. Web蔵書検索システム			
Web蔵書検索システム	全般	462	インターネット蔵書検索が可能なこと
		463	Webサーバ上に公開データベースを持ち、検索ができること
		464	携帯電話による蔵書公開が可能なこと（フリーワード検索、貸出ベスト・予約ベストの表示が可能なこと）
	検索	465	フリーワード検索は全文検索エンジンを採用していること
		466	簡単な検索画面と詳細な検索条件を指定できること画面の両方があること
		467	フリーワードによる検索時、条件を空白で区切って複数入力することによりAND/ORによる複合検索ができること
		468	資料種別（図書・雑誌・AV（CD・ビデオ・DVD等））または全資料より選択して検索できること
		469	資料名（3項目以上の複合検索が可能なこと）、人名（同左）による検索のほか、出版者・発行者・件名・NDC分類・ISBN・出版年月による範囲指定が可能なこと（フリーワード全文検索機能を有すること）
		470	検索一覧結果として、以下の項目（該当件数・現在頁数および全体頁数）・項番・資料名・人名・出版社・分類・出版年月等）を表示できること
		471	一覧表示数は3頁に30件を標準とし、25件・50件・300件と選択可能なこと
		472	詳細表示として以下の項目（書誌データとしては資料名・人名・出版社・出版年月・頁数・サイズ・価格・ISBN・分類・件名・注記・内容細目・内容紹介・著者紹介・利用対象等、ローカルデータとしては所在館・保管場所・種別・請求記号・資料番号・貸出区分等）を表示できること
		473	検索条件入力画面、検索結果一覧画面でソート条件（タイトル、人名、出版者等）を選択することによって、検索結果を条件順に表示できること
		474	検索対象とする館を選択した上で検索できること
		475	検索中断ボタンにより検索処理の中断ができること
		476	検索結果の一覧表示時に、検索キーワードをハイライト表示できること
		477	資料データの状態（貸出状態、予約状態、資料状態）は業務サーバと連携し、リアルタイムに検索結果に反映されること
		478	検索結果一覧、詳細画面で著者をクリックすることにより、選択した著者で再検索できること
		479	発注中の資料をWebOPACで公開でき、検索／予約の対象にできること
		480	検索結果に発注中の資料があるとき、タイトル一覧画面で資料状態が発注中であることがひとめでわかること
		画面構成・表示	481
	予約	482	予約システムを提供し図書管理システムとシームレスな連携が可能なこと（予約データはリアルタイムに業務サーバに反映されること）
		483	予約カート方式であること
		484	予約上限チェックが可能なこと
		485	PCブラウザ用画面にて利用者がログアウトした時やブラウザ画面を閉じた時にカート情報が削除されること
		486	予約などの認証時にしようするパスワード保護対策として、一定回数連続で認証に失敗すると、設定された時間はログインを制限することができること

別紙2. 『システム機能要件書』

I.機能一覧

業務分類	処理機能	項目	要求機能
		487	予約に際しては、利用者番号およびあらかじめ利用者に付与したパスワードによる認証を行うこと予約受取館の設定ができ、予約資料が準備できた際に、メールによる通知が可能であること
		488	予約受渡のサービスポイントを受渡場所グループと受取場所の二段階で管理し、予約処理時に受取場所を選びやすくできること
		489	予約受渡のサービスポイントを選択するとき、選択したグループに属する受取場所が1つしか存在しない場合、自動的に受取場所の選択画面をスキップして次の画面に遷移できること
Web蔵書検索システム	予約	490	予約後、受渡場所を利用者自身で変更できること
		491	WebOPACからの予約変更・取り消しの履歴は、職員の業務端末で抽出・印刷ができること
	セット予約	492	予約の優先順位を設定するセット予約が可能で、上下巻等の巻号管理を行えること
	お気に入り登録	493	資料詳細から、お気に入り資料の登録が可能なこと
	パスワード登録	494	WebOPACから、新規にパスワード登録、申し込みが可能なこと
		495	新規パスワード登録時には、利用者番号、氏名（カナ）、電話番号等で認証すること
	利用状況照会	496	利用者が現在借りている資料が一覧で確認できること
		497	利用者が現在借りている資料について延長処理ができること（利用者および資料の状態が延長可能条件を満たした場合に限る）
		498	利用者が予約中の資料と予約確保されている資料が一覧で確認できること
		499	利用者が予約中の資料について予約取消ができること
		500	利用照会の貸出状況表示画面において、返却期限を超過している明細に期限が超過していることを通知するアイコンとメッセージを表示できること
		501	利用照会の予約確保資料一覧に引取期限日を表示できること
		502	貸出・予約・予約確保の一覧画面にて、タイトルから1クリックで書誌詳細画面へ遷移できること
		503	雑誌の一覧表示機能があること
	雑誌一覧表示	504	刊行頻度を表示可能であること
		505	雑誌情報は、図書館で任意に修正可能であること
		506	雑誌一覧から雑誌を選択することにより、その雑誌の所蔵一覧へ移り、さらに資料を選択することにより資料の詳細情報を表示し、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること
	利用者登録情報変更	507	E-Mail、パスワードの登録内容の変更が行えることまた、E-Mail変更時は確認メールを送信することができること
	利用者機能	508	予約資料の選択はカート方式を採用し、複数冊を予約カートに登録し、1回の認証にて、複数冊の予約を行うことができること
		509	予約カートは追加、削除を可能とすること
		510	予約認証はカートに登録後、本予約実行時に、利用者番号、パスワードにより可能とすること
511		資料検索結果の第一画面の検索結果一覧にて、資料が貸出可能かどうか、禁退出等の情報をアイコンと文字で表示すること	
512		図書館等資料情報表示内に、Amazon等と連携し、書誌表紙画像などを表示できること	
お知らせ	513	施設カレンダー情報を施設別にカレンダー形式で表示できること（業務システムに登録したカレンダーから抽出できること）	
	514	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト・おすすめ本のリストが表示でき、一覧を選択することにより資料の詳細情報へ移り、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること	
	515	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベストはOPACのデータ作成時と同時に作成されること	

別紙2. 『システム機能要件書』

I.機能一覧

業務分類	処理機能	項目	要求機能	
		516	お知らせ表示機能があること図書館がデジタルカメラ等で撮影した画像を掲示可能であること	
		517	子ども向けのお知らせ・検索等の機能があること	
		518	資料詳細画面で、予約ができない書誌の場合は「予約受付」ボタンを非表示とし、予約不可理由をメッセージで表示できること	
		519	資料詳細画面の複本一覧表示にて、資料種別、保管場所、所蔵館、所在館名称の表示文字数を任意に設定できること	
		520	資料詳細画面にて、雑誌の最新刊号は予約受付ボタンを非表示とし、最新刊のため予約できないことを通知するメッセージが表示できること	
		521	WebOPAC、館内OPACに表示するお知らせの期間を任意に設定できること	
		統計処理	522	WebOPACのアクセス統計がとれること
			523	WebOPACのページ別にアクセス統計をとることができること
524	アクセス統計は、期間指定により曜日、ページ毎の集計を行うことができること			
9. スマートフォン蔵書検索システム				
スマートフォン蔵書検索システム	全般	525	スマートフォン（iOSおよびAndroid）のブラウザに最適化された画面で、蔵書検索が可能なこと	
		526	Webサーバ上に公開データベースを持ち、検索ができること	
		527	スマートフォン向けに蔵書公開が可能なこと（フリーワード検索、貸出ベスト・予約ベストの表示が可能なこと）	
	検索	528	フリーワード検索は全文検索エンジンを採用していること	
		529	簡単な検索画面と詳細な検索条件を指定できること画面の両方があること	
		530	フリーワードによる検索時、条件を空白で区切って複数入力することによりANDによる複合検索ができること	
		531	資料種別（図書・雑誌・AV（CD・ビデオ・DVD等））または全資料より選択して検索できること	
		532	詳細検索では、キーワード、著者名、所蔵館、所在館、資料区分、資料種別、出版年月による範囲指定が可能なこと（フリーワード全文検索機能を有すること）	
		533	検索一覧結果として、以下の項目（タイトル、サブタイトル、著者名、出版者、出版年等）を表示できること	
		534	検索一覧結果として、資料状態（貸出可能、他館貸出可能、貸出中、発注中、貸出禁止等）がひとめでわかること	
535	一覧表示数は1頁に10件を標準とし、1000件まで選択可能なこと			
スマートフォン蔵書検索システム	検索	536	詳細表示として以下の項目（タイトル、サブタイトル、著者名、出版者、出版年、ISBN、内容紹介、蔵書数、予約数、貸出可能数、貸出数、蔵書館名、蔵書場所（請求記号）、蔵書種別、蔵書状態等）を表示できること	
		537	検索条件入力画面でソート条件（タイトル順、著者名順、出版年順、分類順）を選択することによって、検索結果を条件順に表示できること	
		538	検索対象とする館を選択した上で検索できること	
		539	検索中断ボタンにより検索処理の中断ができること	
		540	資料データの状態（貸出状態、予約状態、資料状態）は業務サーバと連携し、リアルタイムに検索結果に反映されること	
		541	詳細画面で著者をクリックすることにより、選択した著者で再検索できること	
		542	発注中の資料をスマートフォンOPACで公開でき、検索／予約の対象にできること	
		543	検索結果の一覧表示時に、検索キーワードをハイライト表示できること	
		画面構成・表示	544	パラメータ管理により、タイトル詳細画面の内容紹介欄の表示を以下の2パターンに設定できること ・内容紹介を非表示にする ・内容紹介が複数あるとき、紹介データごとに改行し、すべての内容紹介データを登録順に表示する
	予約		545	予約システムを提供し図書管理システムとシームレスな連携が可能なこと（予約データはリアルタイムに業務サーバに反映されること）
546		予約カート方式であること		
547		予約上限チェックが可能なこと		
548		スマートフォンブラウザにてブラウザ画面を閉じた時にカート情報が削除される		
549		予約などの認証時にしようするパスワード保護対策として、一定回数連続で認証に失敗すると、設定された時間はログインを制限することができること		
550		予約に際しては、利用者番号およびあらかじめ利用者に付与したパスワードによる認証を行うこと予約受取館の設定ができ、予約資料が準備できた際に、メール		

別紙2. 『システム機能要件書』

I.機能一覧

業務分類	処理機能	項目	要求機能
		551	予約受渡のサービスポイントを受渡場所グループと受取場所の二段階で管理し、予約処理時に受取場所を選びやすくできること
		552	予約受渡のサービスポイントを選択するとき、選択したグループに属する受取場所が1つしか存在しない場合、自動的に受取場所の選択画面をスキップして次の画面に遷移できること
		553	予約後、受渡場所を利用者自身で変更できること
	セット予約	554	予約の割当に優先順位を、利用者が簡易な操作で指定できること
		555	予約の優先順位を設定するセット予約が可能で、上下巻等の巻号管理を行えること
	お気に入り登録	556	資料詳細から、お気に入り資料の登録が可能なこと
	パスワード登録	557	スマートフォンOPACから、新規にパスワード登録、申し込みが可能なこと
		558	新規パスワード登録時には、利用者番号、氏名(カナ)、電話番号等で認証する
	利用状況照会	559	利用者が現在借りている資料が一覧で確認できること
		560	利用者が現在借りている資料について延長処理ができること (利用者および資料の状態が延長可能条件を満たした場合に限る)
		561	利用者が予約中の資料と予約確保されている資料が一覧で確認できること
		562	利用者が予約中の資料について予約取消ができること
		563	利用照会の貸出状況表示画面において、返却期限を超過している明細に期限が超過していることを通知するアイコンとメッセージを表示できること
		564	利用照会の予約確保資料一覧に引取期限日を表示できること
		565	貸出・予約・予約確保の一覧画面にて、タイトルから1クリックで書誌詳細画面へ遷移できること
	雑誌一覧表示	566	雑誌の一覧表示機能があること
		567	雑誌情報は、図書館等で任意に修正可能であること
		568	雑誌一覧から雑誌を選択することにより、その雑誌の所蔵一覧へ移り、さらに資料を選択することにより資料の詳細情報を表示し、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること
	利用者登録情報変更	569	E-Mail、パスワードの登録内容の変更が行えることまた、E-Mail変更時は確認メールを送信することができること
	利用者機能	570	予約資料の選択はカート方式を採用し、複数冊を予約カートに登録し、1回の認証にて、複数冊の予約を行うことができること
		571	予約カートは追加、削除を可能とすること
		572	予約認証はカートに登録後、本予約実行時に、利用者番号、パスワードにより可能とすること
		573	資料検索結果の第一画面の検索結果一覧にて、資料が貸出可能かどうか、禁退出等の情報をアイコンと文字で表示すること
		574	図書館資料情報表示内に、Amazon等と連携し、書誌表紙画像などを表示できること
	お知らせ	575	施設カレンダー情報を施設別にカレンダー形式で表示できること(業務システムに登録したカレンダーから抽出できること)
		576	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト・おすすめ本のリストが表示でき、一覧を選択することにより資料の詳細情報へ移り、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること
		577	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベストはOPACのデータ作成時と同時に作成されること
		578	お知らせ表示機能があること図書館等がデジタルカメラ等で撮影した画像を掲示可能であること
		579	資料詳細画面で、予約ができない書誌の場合は「予約受付」ボタンを非表示とし、予約不可理由をメッセージで表示できること
		580	資料詳細画面の複本一覧表示にて、資料種別、保管場所、所蔵館、所在館名称の表示文字数を任意に設定できること
		581	資料詳細画面にて、雑誌の最新刊号は予約受付ボタンを非表示とし、最新刊のため予約できないことを通知するメッセージが表示できること
	統計処理	582	スマートフォンOPACのアクセス統計がとれること
		583	アクセス統計は、期間指定により曜日、ページ毎の集計を行うことができること

別紙2. 『システム機能要件書』

Ⅱ. 出力帳票一覧

業務分類	処理機能	項目	要求機能
帳票・統計	帳票全般	1	随時作成可能なこと
		2	基本的にA4サイズで統一していること
		3	抽出条件、打ち出し順の選択の幅が広いこと
		4	印字途中での中断、取消、保留、継続が選択できること
		5	基本的に罫線付きであること
		6	プレビュー機能で画面で確認できること
	帳票	7	貸出票
		8	貸出資料一覧
		9	予約者連絡表（返却）
		10	利用者リスト
		11	多重登録利用者リスト
		12	団体利用者リスト
		13	未利用利用者リスト
		14	督促リスト
		15	督促はがき
		16	督促連絡依頼票
		17	長期延滞資料リスト
		18	資料検索結果図書一覧
		19	資料検索結果図書目録
		20	新刊選書リスト
		21	発注済新刊選書リスト
		22	注文リスト
		23	雑誌受入れ予定リスト
		24	受入れリスト
		25	未納品リスト
		26	新着資料リスト
		27	新刊リスト
		28	雑誌受入れリスト
		29	予算執行状況リスト
		30	発注金額集計リスト
		31	受入れ金額集計リスト
		32	図書書名目録
		33	図書著者名目録
		34	図書分類目録
		35	図書件名目録
		36	雑誌タイトルリスト
		37	AVタイトル順目録
		38	AV人名順目録
		39	AV分類目録
		40	AV件名目録
		41	人名典拠リスト
		42	出版者典拠リスト
		43	件名典拠リスト
		44	図書原簿
		45	除籍予定リスト
		46	雑誌一括除籍予定リスト
		47	除籍リスト
		48	除籍原簿
		49	未利用資料リスト
		50	蔵書点検エラーリスト
		51	蔵書点検もれリスト
		52	不明資料リスト
		53	利用統計日報
		54	利用統計月報

別紙2. 『システム機能要件書』

Ⅱ. 出力帳票一覧

業務分類	処理機能	項目	要求機能
		55	利用統計年報
		56	相互貸借月報
		57	相互貸借年報
		58	曜日別利用統計年報
		59	地区別利用登録者集計
		60	地区別利用冊数
		61	団体貸出年報
		62	雑誌号別貸出冊数集計
		63	蔵書統計年報
		64	受払年報
		65	ベストリーダー
		66	予約ベスト
		67	AV利用状況リスト
		68	雑誌別予約件数集計
		69	貸出予約状況年報
		70	広域利用統計